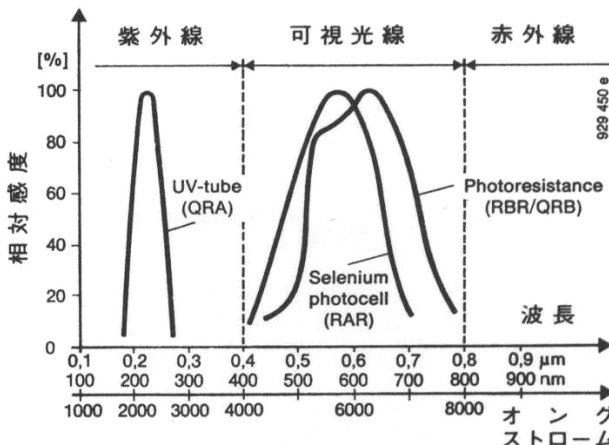


仕様書番号		SL0065401 - 1/2	作成年月日	2009.08.19
cds式火炎検出器 QRB1				
適用範囲				
cds式火炎検出装置QRB1はSIEMENSの可視光線領域の油燃焼装置に使用される小容量のバーナ用バーナ・コントロール・リレーに主としてとして使用されます。				
機能				
QRBは油燃焼で発生する火炎からの可視領域の放射光を受けて火炎信号として使用します。 受光素子はフォトレジスタ(cds)で光が当たらない状態では数MΩの抵抗値を示します。 しかし、光が当たるとその光量により抵抗値は数KΩ迄低下します。 セルはセレンウム式火炎検出器RAR7・RAR8や、シリコン式火炎検出器RAR9と異なり、赤熱した炉壁などに対して反応します。				
技術仕様				
型番		: QRB 1. 50 (標準型: 本体ケース 黒色) : QRB 1. 50S (高感度型: 本体ケース 赤色)		
適用範囲		: オイル燃焼装置		
組み合わせ				
バーナコントローラ		: LOA , LAL2		
燃焼時における推奨照度		: 約 40Lux. (2856K)		
最小必要照度		: QRB1. 50 ; 3 Lux (2856K) QRB1. 50S ; 0. 6 Lux (2856K)		
停止時における必要抵抗値		: 1, 000 KΩ 以上		
許容周囲温度		: -20~+70℃		
保護構造		: IP40		
取付姿勢		: 自由		
重量		: 約 25 g		
配線長		: 500 mm		
付属アクセサリ		: フランジ、クランプ		
				
SIEMENS 製品技術仕様書 適用範囲・機能・技術仕様				
型番	cds式火炎検出器 QRB1 (油用)			
名称	火炎検出器			
		Energy Management Technologies Solution Partner of Siemens AG Building Technologies		

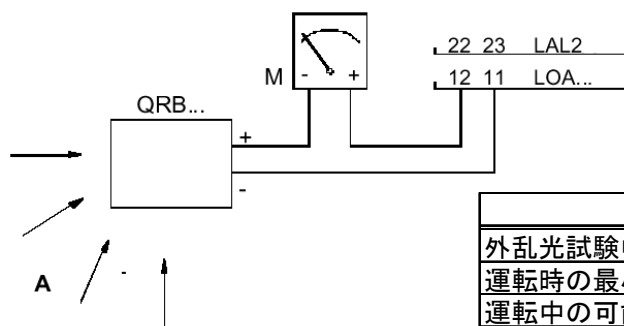
注意事項

周囲の環境や器物、人体への損傷を防止するために
下記の事項を厳守すること！

◎火炎検出器本体を絶対に分解したり改造したりしないこと

- ・配線の変更や交換をするときにはバーナ装置の主電源を切ること
- ・火炎検出器を含む制御回路には耐電圧試験や絶縁試験を行わないこと
- ・試運転前には配線や安全装置の再確認を実施すること
- ・落下したり、強い衝撃が加わったQRB1は外観に異常がなくても絶対に使用しないこと
- ・設置や取り扱いにあたっては十分な知識を持った技術者が行うこと
- ・配線の長さは火炎検出器のケーブル長以内で抑えること
- ・火炎検出器は単独配線として他の配線と一緒にしないこと。
特にイグニッション・ケーブルからは可能な限り離すこと。

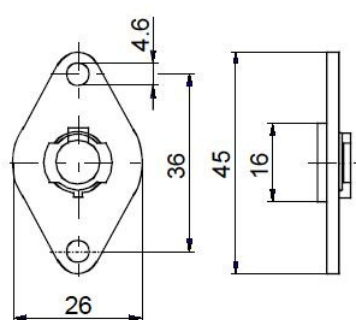
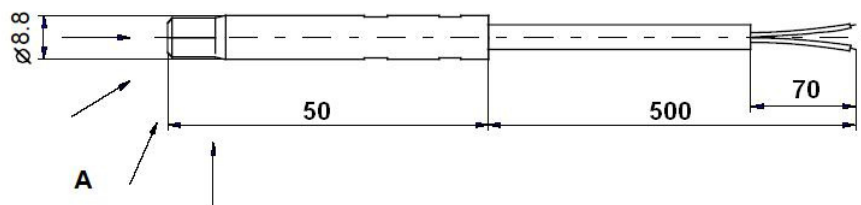
フレーム電流測定回路



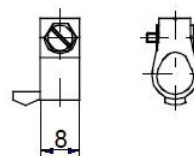
	LOA24	LAL2
外乱光試験中の許容最大電流	5.5	0.8
運転時の最小必要電流	70	8
運転中の可能最大電流	210	35

(単位: μA)

外形寸法図



本体



フランジ

本体クランプ

(単位: mm)

※記載内容は予告なしに変更させていただく場合がありますので、あらかじめ御了承ください。

SIEMENS		製品技術仕様書	注意事項・電流測定・寸法	Energy Management Technologies emt Solution Partner of Siemens AG Building Technologies
型番	cds式火炎検出器 QRB1（油用）			
名称	火炎検出器			